

編集後記

夏の暑さを形容する「うだるような」という表現がありますが、それを地でゆく近年の猛暑。「過去に例のない危険な暑さ」「人の健康に係る重大な被害が生じるおそれ」という熱中症警戒アラートをニュースで耳にしない日はありません。

今号では、人間科学部会とこども環境学会（北陸・関西・東海）共催の、公開講演会「ボルネオの熱帯雨林と私たちの暮らし（サラヤ株式会社 中西宣夫氏）」の講演録を掲載しています。我々と未来世代の暮らしを守るには、誰かに責任を押し付けるのではなく、ローカルからグローバルに視点を広げ、考え行動することの重要性を中西氏は語っておられます。近年の猛暑が地球温暖化への警告を軽視してきたツケとすると、今後さらなる自然からの請求書を覚悟しなくてはならないのかもしれませんが、まだまだ知恵と汗を絞ることは出来そうとの思いがしています。

本誌は 2008 年に創刊されました。以来、18 年間に渡り馬場 治編集長（こども学科，教授）が本誌編集を一手に担ってこられました。これまでのご尽力に深く感謝申し上げます。

ここに、こども学科 3 報，スポーツ学科 1 報，講演録 1 報を掲載する第 19 巻 1 号をお届けします。どうぞ高覧ご批評くださいますよう，よろしくお願い申し上げます。

2025 年 9 月吉日

編集委員長

永坂正夫

《投稿された論文等に関する著作権は，基本的に人間科学部会に帰属します》
「金沢星稜大学学会 会則と規程等」については，下記の WEB サイトをご覧ください。

<http://www.seiryu-u.ac.jp/u/education/gakkai/research02.html>